

立山初すべり山スキー 山行記録

日時 2019年(令和元年)11月23日(土)・24日(日)

メンバー 宮崎、内田、中村

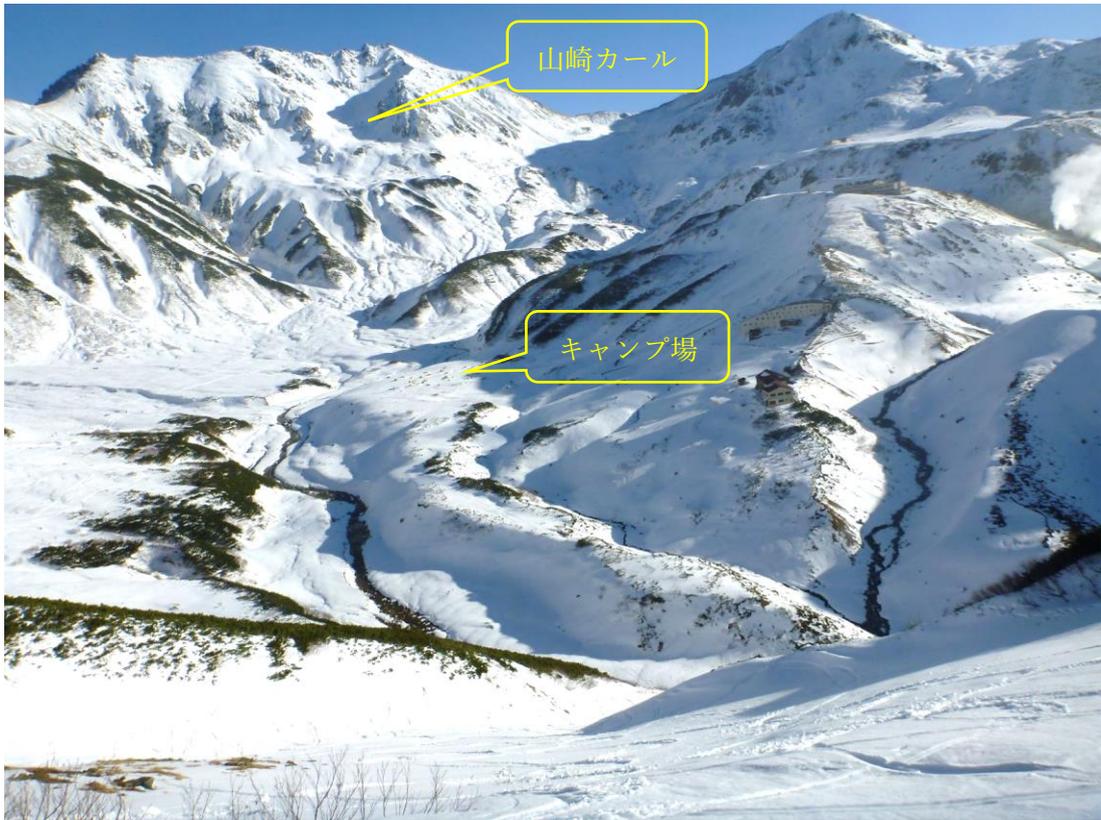
行程 前日深夜神戸発車移動 立山到着後仮眠、ケーブル・高原バス利用で室堂ターミナルへ

1日目 室堂ターミナル→雷鳥平キャンプ場 テント設営後、室堂乗越方面東側の南斜面の滑降後、雷鳥平キャンプ場でテント泊

2日目 雷鳥沢北西方面の南斜面滑降後、雷鳥平キャンプ場のテントを撤収後、室堂ターミナルへ バス等で立山に戻り、入浴後、帰神

1日目





室堂から、室堂山荘経由で
雷鳥平キャンプ場に向かう。
まずはキャンプ場にテントを張り、
テントで、少し朝寝してから出発。
(とにかく眠い。)

いわゆるおいしそうな斜面は
降雪直後の前日金曜日に
かなりシュプールが刻まれている。
それでも、Mさんに導かれて、
近場でまだ荒らされていないところ
を探しに行く。



立山三山方面を望む。確かに、雪は少ないが、まだ11月なので当たり前。それにしても、いい天気。



積雪量は少ないが、場所を選べば、少しは新雪ぽいところを滑ることができた。
Mさんのコース取りは適格でありがたかった。
テレマークで颯爽に滑るMさん。

野営場で、1人用と2人用のテントの2張で宿泊。

それほど強い風にも合わず助かった。



2日目



当初、山崎カールに行く予定であったが、北斜面のため午前中は日が当たらず、昨日緩んだ雪が再凍結し、危険なカリカリの斜面が予測されたので、午前中から日が当たる雷鳥沢方面の南斜面に変更した。雪面は固いので、途中でクートを付けて雷鳥沢を登る。剣御前までは登らず、西側にトラバースを交えながら滑降した。

2日目、少し天気が崩れてきた。





シール登行の際、遙か下にいると思ったらあっという間に追い抜かれた。その人は、超軽量の装備で、山岳レースのトレに励んでおられる単独行の方。どうも、日本のトップレベルの方らしい。お話しを伺うと、今日は、トレなので、レースでは持たないショベルとプローブと行動食も持っているとのこと。シールも板を脱がずに脱着できるとのこと。片方の板を持たせてもらったが、ウイベットストックと同じぐらいの重さで、超軽量。パインデングと靴はディナフィットの TLT 規格。



天候が崩れる前に、室堂に戻り、帰神。
初すべりとしては文句なしの満足な山行でした。

(この記録は山行5か月後にあたる2020年4月25日に作成しているが、この立山初すべりの後、全国レベルの記録的な雪不足で悩まされ、追い打ちをかけて、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の外出自粛要請を受け、黒部アルペンルートも全面運休になるとは、誰も予想できなかったに違いない。)